

人のうごき

令和5年6月届出分を掲載(希望者のみ)

おたんじょう

本間 千惺 ^{ちさと} ちゃん	(友教・美千加)	南町
嶋元 涼真 ^{りょうま} くん	(貴大・香)	港町
前阪 弥栄 ^{みま} ちゃん	(知寛・なるみ)	幸町

おくやみ

村上 勝義 ^{かつよし} さん	84歳	北2の4
笹浪 一夫 ^{かずお} さん	80歳	南2の4
黒田 春枝 ^{はるえだ} さん	86歳	幸町
高本 悠治 ^{ゆうじ} さん	82歳	南町
田村 繁 ^{しげる} さん	89歳	北4の2

人口と世帯数(6月末)

人口	6,223人	(-11)
男	3,012人	(-7)
女	3,211人	(-4)
世帯数	3,395世帯	(-6)

()は前月比

戸籍の届出について

戸籍の届出は休日でも対応しています。休日にお越しの際には連絡事項等がございますので、事前に町民課総合受付係までお電話ください。(☎ 68-7003 ※休日可)



Dr. 佐々尾の健康カルテ

健康に関連する「社会的な要因」のことを5月号からお伝えしています。このようなことは今になってわかった話ではありませんし、私たちのような医療従事者が「社会的な要因」を全く無視していたわけではありません。今回も寓話を紹介します。流れの速い川岸にしていると溺れている人が流れてきて、助けたそばからまた次に溺れた人がやってくる・・・その繰り返し。溺れる人を助けることで精一杯で、なぜ溺れる人がたくさんやってくるのか、上流まで見に行き確認する時間もなかった・・・、というものです。

下流にいて溺れる人を助ける人、これは医療機関に当たります。私たち医療機関は、当然病気になった人がやってくるのでそれを治療することを考えるように教育を受けています。しかし、そもそもなぜ病気になるのか？という視点は、まったく教育されていないわけではありませんが、実践している医療従事者はごく少数だと思われれます。例えば、高血圧に対する減塩のような生活習慣は指導してはいますが、なぜその地域で塩分が好んで摂取されるのか？ということまでは考えていないことが多いです。このような例はまだ簡単です。ほかの例を挙げると、独居の高齢者(身寄りが全くいない)が数日前に発症したと思われる感染症で、重症化して運ばれてくる場合があります。もちろん治療しますし、その後どのように生活するのかを医療機関と地域の介護・福祉の担当で相談して決めていきます。しかし、もっと早く見つけてあげられなかったのか？これから同じようなことを繰り返さない対策は？などといったことまで、私たちが踏み込んでいくことは以前はほぼありませんでした。この寓話の上流にあるのが生活習慣や生活環境などの社会的な要因になるのです。上流～中流で「溺れないようにする」対策が必要で、川に柵を設けたり、泳ぎ方を教えてあげる必要もあるでしょう。あるいは川の見張りを増やしたり、浮き輪を多く設置するなどの「助けられる」対策も必要になります。このような対策について、上流を変えることができる人たち(自治体など)に対して医療従事者が積極的に実情を伝えていくこと(患者さんの代弁者になること)も求められるようになってきています。

そこで羽幌病院では、昨年度から入院中の患者さんについて、社会的な問題がないかを積極的に確認するように取り組むようにしています。来月はその点について触れていきたいと思っています。

(北海道立羽幌病院 副院長 佐々尾 航 医師)

宝くじ 公式サイト

すぐ買える 当たりがわかる クイックワン

宝くじ 公式サイトで 発売中!

宝くじの収益金は、私たちの街の公共事業等に役立てられています。
公益財団法人北海道市町村振興協会

サマージャンボ7億円
(1等5億円・前後賞各1億円合わせて)

サマージャンボミニ3,000万円
(1等2千万円・前後賞各5百万円合わせて)

この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。

7月4日(火)2種類同時発売! 発売期間 7/4(火)~8/4(金)
抽せん日 8/18(日)

公益財団法人北海道市町村振興協会 各1枚 300円

